

## 林鶴一資料(1)目録

請求記	表題	作成年代	作成者	受取	形態(数量)	概要	備考
<b>I 論文</b>							
I 1	[抜刷]On the Diophantine equation $x^4+y^4=z^4+t^4$	1912(大正元)年1月	林鶴一		1部(4枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol1.No3.1に掲載された林の論文の抜刷。	
I 2	[抜刷]故遠藤利貞翁公刊著述表補遺 A Supplement to the List of Woeks of the late Mr.Endo	大正5年2月(脱稿)	林鶴一		5枚(同一物)	何らかの雑誌(『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』か)に掲載された林による目録の抜刷。	
I 3	[抜刷]On The Solutions of the Indeterminate Equation $x^3+y^3+z^3=u^3$ in Japanese Mathematics.	1916(大正5)年8月	林鶴一		1部(9枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol10.No1.2.1に掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I 4	[抜刷]口(さんずい)に(霊)圓二就キテ	1916(大正5)年12月	林鶴一		1部(3枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol10.No4.1に掲載された林の論文の抜刷。	
I 5	[抜刷]Miscellaneous Notes on conics.	1917(大正6)年2月	林鶴一		1部(11枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol1.Nos1.2.1に掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I 6	[抜刷]和算中ノ術、特ニ統術二就テ On Some Methods,Especially Tojutsu,in the Japanese Mathematics.	1918(大正7)年8月	林鶴一		1部(15枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol14.Nos1.2.1に掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I 7	[抜刷]On Some Algebraic Equations Having Real Roots only.	1918(大正7)年11月	林鶴一		1部(5枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol14.Nos3.4.1に掲載された林の論文の抜刷。	
I 8	[抜刷]靱持章行ト其ノ球面画等圓術解 Akiyuki Kemmochi and his "Equal Circles on the Sphere".	1920(大正9)年12月	林鶴一		1部(6枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol18.Nos3.4.1に掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I 9	[抜刷]An Inequality in Polygon-Geometry.	1923(大正12)年8月	林鶴一		1部(4枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol23.Nos1.2.1に掲載された林の論文の抜刷。	
I 10	[抜刷]上下不等立環二就テ On a Ring-shaped Body.	1923(大正12)年8月	林鶴一		2部(4枚、同一物)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol23.Nos1.2.1に掲載された林の論文の抜刷。	
I 11	[抜刷]On the Extremal Area of the Osculating Ellipse of an Oval.	1924(大正13)年8月	林鶴一		1部(4枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol23.Nos3.4.1に掲載された林の論文の抜刷。	
I 12	[抜刷]塵劫記目録補遺 A Supplementary to the List of Jinkoki's(in Japanese).	1924(大正13)年12月	林鶴一		1部(5枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol24.Nos1.2.1に掲載された林による目録の抜刷。	
I 13	[抜刷]和算ニ於ケル三角関数表 Trigonometric Tables in the Japanese Mathematics.	1926(昭和元)年4月	林鶴一		1部(8枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol26.Nos3.4.1に掲載された林の論文の抜刷。	
I 14	[抜刷]塵劫記目録補遺第二、附改算記目録補遺 Second Supplementary Note to the List of Jinkoki's and Supplementary to the List of	1926(昭和元)年4月	林鶴一		1部(3枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol26.Nos3.4.1に掲載された林のによる目録の抜刷。	
I 15	[抜刷]高級Bassel函数ト其ノ応用 On Bassel Functions of Higher Classes and one of their Applications.	1926(昭和元)年11月	林鶴一		1部(12枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol27.Nos3.4.1に掲載された林の論文の抜刷。	

林鶴一文書

請求記		表題	作成年代	作成者	受取	形態(数量)	概要	備考
I	16	[抜刷]階段構造二関スルーツノ問題	昭和3年1月	林鶴一		1部(6枚)	『日本中等教育数学会雑誌』第10巻.第3号に掲載された林の論文の抜刷。	
I	17	[抜刷]二元一次不定方程式ノ解法ト剰一術及ビ口(にくづきに肉)一術ト二就テ On solution of the indeterminate linear equation of two variables and the Joichi-jutsu and Jikuichi-jutsu in Japanese	1928(昭和3)年9月	林鶴一		1部(13枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol30.Nos1.2.に掲載された林の論文の抜刷。朱筆で「訂正記入書(東京へ送ルベキモノ)」などといった書き込みあり。	
I	18	[抜刷]塵劫記目録補遺第三	昭和5年3月	林鶴一		1枚	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』に掲載された林による目録の抜刷。	
I	19	[抜刷]塚術、索術及ビ招差法二就テ	1932(昭和7)年1月	林鶴一		1部(30枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol35.Part Iに掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I	20	[抜刷]開方綴術及ビ開方算類術二就テ On the binomial expansion, and the power-series form or other sequence-limit form of a root of an equation in the old	1932(昭和7)年5月	林鶴一		1部(29枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol35.Part IIに掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I	21	[抜刷]和算中ノ術二就テ On some methds of the old Japanese mathematics	1932(昭和7)年5月	林鶴一		1部(9枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol35.Part IIに掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I	22	[抜刷]NOTES ON SOME DIFFERENTIAL EQUATIONS IN PHYSICS AND DIFFERENTIAL GEOMETRY.	1918(大正7)年6月(脱稿年)	林鶴一		1部(6枚)	何らかの雑誌に掲載された林による論文の抜刷。	
I	23	[抜刷]大原利明ノ一定理 A theorem due to Rimei Ohara	1932(昭和7)年8月	林鶴一		1部(6枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol36.Part Iに掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I	24	[抜刷]角術二就テ On the treatment of regular polygons in the old Japanese	1932(昭和7)年8月	林鶴一		1部(26枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol36.Part Iに掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I	25	[抜刷]和算家ノ力学的思想	昭和7年12月	林鶴一		1部(4枚)	『日本中等教育数学会雑誌』第14巻.第6号に掲載された林の論文の抜刷。	
I	26	[抜刷]圓理綴術二就テ On the rectification, quadrature and cubature in the old Japanese mathematics.	1933(昭和8)年1月	林鶴一		1部(27枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol36.Part IIに掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I	27	[抜刷]和算ニ於ケル橢圓二就テ	昭和8年4月	林鶴一		1部(6枚)	『日本中等教育数学会雑誌』第15巻.第2号に掲載された林の論文の抜刷。	
I	28	[抜刷] $P_{n+1}=rP_n-P_{n-1}$ ナル数列	昭和8年6月	林鶴一		2部(4枚、同一物)	『日本中等教育数学会雑誌』第15巻.第3号に掲載された林の論文の抜刷。	
I	29	[抜刷]和算ニ於ケル曲線及ビ曲面二就テ	1934(昭和9)年4月	林鶴一		1部(30枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol39.Part Iに掲載された林の論文の抜刷。朱筆で「訂正記入書(東京へ送ルベキモノ)」などといった書き込みあり。	
I	30	[抜刷]一ツノ初等幾何学作図不能問題	昭和9年7月	林鶴一		1部(3枚)	『日本中等教育数学会雑誌』第16巻.第4号に掲載された林の論文の抜刷。	
I	31	[抜刷]忠臣蔵の数学者	昭和9年11月	林鶴一		1部(5枚)	『養正会』第30号に掲載された林の文章の抜刷。	

林鶴一文書

請求記	表題	作成年代	作成者	受取	形態(数量)	概要	備考
I 32	[抜刷]常陸、両毛及比信州ノ和算家二就テ On the mathematicians in the four districts Hitachi,Shimozuke,Kozuke and Shinano.	1935(昭和10)年4月	林鶴一		1部(19枚)+1枚	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol40.Part IIに掲載された林の論文の抜刷。正誤表1枚挿む。	裁断されていない箇所あり。
I 33	[抜刷]或ル函数方程式ニ就テ	昭和10年7月	林鶴一		1部(9枚)	『日本中等教育数学会雑誌』第17巻.第4号に掲載された林の論文の抜刷。	
I 34	[抜刷]北陸道ノ和算家二就テ On the mathematicians in the Hokuroku-Do districts.	1935(昭和10)年8月	林鶴一		1部(10枚)	『TOHOKU MATHEMATICAL JPURNAL』Vol41.Part Iに掲載された林の論文の抜刷。	裁断されていない箇所あり。
I 35	[抜刷]SOME DUTCH BOOKS ON MATHEMATICAL AND PHYSICAL SCIENCES IMPORTED FROM HOLLAND TO JAPAN BEFORE THE RESTORATION IN 1868.(Third Note)	年不詳	林鶴一		1枚	何らかの雑誌に掲載された林による目録の抜刷。	
I 36	林鶴一博士和算研究集録(上巻)	昭和12年5月	林鶴一(東京開成館)	(林か)五郎	1冊(カバー入り)+1枚	林の研究集録。「孫義昭 故林鶴一 叔父五郎様 謹呈」とあり。568と569ページの間に石巻教育委員会事務局の津田清一の名刺挿む。	
I 37	林鶴一博士和算研究集録(下巻)	昭和12年5月	林鶴一(東京開成館)	(林か)五郎	1冊(カバー入り)	林の研究集録。「孫義昭 故林鶴一 叔父五郎様 謹呈」とあり。	
<b>II その他</b>							
II 1	五ヶ条免許	明治23年10月吉日	規矩亭直伝 大野幾重	入江徳太郎	1枚(包紙入り)	入江徳太郎に対し同規法・釈預法・両式法・分式法・加減法を伝授した旨を記すもの。	
II 2	初段免許	明治23年10月吉日	規矩亭直伝 大野幾重	入江徳太郎	1枚(包紙入り)	入江徳太郎に対し初段の術(招差術・塚積術・段数術・角術)を伝授した旨を記すもの。	
II 3	指南目録	明治24年1月吉日	規矩亭直伝 大野幾重	入江徳太郎	1枚(包紙入り)	入江徳太郎に対し、他者への指南を許す旨を記すしたもの。	
II 4 1	[書簡]	(年月不詳)24日	矢袋喜一	林鶴一	1枚	八重山にて計算のために使われている結繩の模造品を林に送付した旨、および結繩の使用方法を記す。	
II 4 2	結繩(模造品)	年不詳	矢袋喜一	林鶴一	1点	矢袋から林に贈られた結繩か。金額を表すために用いたもの。	
II 4 3	結繩(模造品)	年不詳	矢袋喜一	林鶴一	1点	矢袋から林に贈られた結繩か。尺度を表すために用いたもの。	
II 4 4	[書簡]	大正4年4月20日	沖縄師範学校 矢袋喜一	林鶴一	1枚(封筒入り)	琉球古来の数学について研究する矢袋が、自身の研究のために蒐集した写真をもとに作った「琉球古来の数学絵葉書」を林に進呈する旨。	史料の状態により、中身と封筒を別にして保存。
II 4 5	[原稿]緒言(未定稿)	年不詳	矢袋喜一か	林鶴一か	4枚綴	沖縄古来の数学について書かれた原稿の冒頭部分と目次部分。	釘外す。
II 5	[書蹟]静中静非真静 動処静 得来始通天地之神頭 剛処剛 非真剛 柔中剛得来方識人生	大正15年	林鶴一		1枚		
II 6	[書蹟]立志遠大砥厲氣節	昭和8年	林鶴一		1枚	「渭主仙住」「皎衣玄裳樓主人」の落款あり。	
II 7	TOBARI DEUTSCH—JAPANSCH(大独日辞典)	昭和8年5月	登張信一郎(大倉書店)	林鶴一か	1冊	独和辞書。表紙裏に「謹呈 著者」とあり。	
II 8	求積及び毬關変形草	昭和9年5月	関孝和(注釈:岡専吉)		1冊(59枚)+1枚	関孝和の著作の謄写本。正誤表1枚挿む。	
II 9	[絵葉書]故林鶴一博士一周忌追悼会記念	昭和11年10月4日	東北帝国大 理学部		3枚(包紙入り)	林の一周忌追悼会の記念品として作られたものか。生前の林を写した写真が2枚、林の出版物を収めた本棚を写した写真が1枚。	

林鶴一文書

請求記	表題	作成年代	作成者	受取	形態(数量)	概要	備考
Ⅱ 10	[試験問題下書き]	年不詳	林鶴一か		5枚	林によると思われる試験問題の下書き。ピタゴラスの定理に就いて。	
Ⅱ 11	[写真]	年不詳			1枚	林を写した写真。	
Ⅱ 12	[教材図形]	年不詳	林鶴一か		計67点(箱入り)	教材として用いられたものか。正方形15点、三角形38点、長方形8点、平行四辺形1点、五角形4点、円形1点。種別にビニール袋に入れ保存。	
Ⅱ 13	[算木]	年不詳			1箱	教材として用いられたものか。	
Ⅱ 14	[積み木]	年不詳			1箱	4片1組で直方体をなす積み木。それぞれに1から4の数字が付してある。教材として用いられたものか。	
Ⅱ 15	徳川時代権衡分銅	年不詳	中村用具		1点	分銅が入っていたと思しき木箱の蓋。	
Ⅱ 16	[書簡コピー]	明治44年6月13日	林鶴一	三上義夫	1点	東北帝国大学の助手就任の依頼状(結果は謝絶)	出所不明、翻刻等添付